

地元住民で盛り上げる

地域活性の起爆剤

但東地域の資母地区では、今年7月にオープンした「たんたん温泉 福寿の湯」を中心に、地域の活性化を図ろうと取り組まれています。今回は、施設の代表者を紹介します。

水口亮二さん(63歳)但東町中山

細かな心遣いで

お出迎え

たんたん温泉は、但東町坂野(たんたんトンネル南側)の国道482号沿い、見渡す限り緑いっぱいの中々に囲まれた場所にあります。

取材の日はいにくの雨。施設の駐車場に到着し、車から降りて傘を持たずに入口へ向かうと、一人の男性が駆け



寄ってきて、「どうぞ」と傘を差し出してくれました。これも地元住民の心のこもったサービスの一つです。

同温泉の支配人を務める水口亮二さんは「オープンまで大変でしたが、これから本当の頑張りどころです。たんたん温泉の完成を起爆剤にして地域の魅力をもっともって高めていきたいです」と話していました。この言葉には、こんな意味があります。

個性を出さないと

うまくいかない

市が建設したたんたん温泉の管理運営は、約320の地元住民や団体・企業などで構成される「たんたん温泉運営管理組合」が行っています。

但東地域には、平成6年に完成した「但東シルク温泉館」があるため、水口さんは「同

温泉施設から情報発信
但東の新しい魅力がまた一つ

じ地域で後発になった温泉施設なので、違う個性を出していかないとうまくいかない」と言葉が強めます。

そこでたんたん温泉は、日本・モンゴル民族博物館や農家民宿、そばの郷、たんとうチュリーリップまつりなどの文化関連施設や行事と連携して地域の活性化を図ろうと、観光案内所の役割も担っています。田舎暮らし体験や農業体験などで地元の魅力を引き立て合っている、その輪が地域から市内全



▲たんたん温泉 福寿の湯支配人の水口さん。趣味は旅行と絵を描くこと

域へ、そして市外へ広がっていくことを目標にしています。「一種の仕掛け人というところでしょうか」と水口さん。その笑顔は自信に満ち溢れていました。

木のぬくもりと
地元住民のもてなしで
身も心も温まる

たんたん温泉の泉質は、重曹泉の「美人の湯」で、肌がつるつるになり、さまざまな浴用の適応症があります。

建物は、県内産材をふんだんに使用し、木のぬくもりが感じられる造りで、施設に入ると、木の香りに包まれ、心が和らぎます。

「郷路の湯」・「高龍の湯」の2つの露天風呂は、川のせせらぎが聞こえ、四季折々の豊かな自然が堪能できます。

《施設利用のご案内》

- 所在地 但東町坂野470
- 電話・FAX 56-1511
- 営業時間
平日 午前11時～午後10時
土日祝日 午前10時～午後10時
- ※入館はいつでも午後9時30分まで
- 休館日 毎週火曜日
- 料金
大人500円
子ども300円
(5歳～中学生)

また、食事コーナーには、地元住民の手づくりうどんやおにぎりの提供があります。さらに、環境対策の取組みとして、ボイラーの排熱利用による床下保温、ソーラー給湯、太陽光発電などの設備を備え、環境にも配慮しています。水口さんは「地元住民が心を込めてもてなしますので、ぜひ、立ち寄ってください」と笑顔で話していました。皆さん、ぜひ利用ください。

保育園に広報マンガがやってきた！ ⑧

城南保育園 (豊岡)

〈園児120人〉



住宅に囲まれた城南保育園。隣には八条幼稚園・八条小学校があり、学校の様子を見たり、幼稚園児と一緒に遊んだりしながら交流をしています。9月1日、プール納めが行われるようなので、その様子をのぞいてみました。

冷たくて気持ちイイ！

この日は良い天気で気温も上昇し、プール日和となりました。

みんなで楽しくリズム体操で体を動かしたあと、園児一人ひとり体を洗い流して順番にプールに入っていました。



足を水に浸けてプールに入ると園児たちは「冷たくて気持ちいい」「楽しい」と笑顔で元気な声を出していました。



小さくても元氣いっぱい

園庭のあちらこちらに準備された大小のいくつかのカラーフルなビニールプールには、0歳、1歳、2歳の小さい子どもたちが入って遊んでいます。ペットボトルの手作りシャワーで遊んだり、ワニさん歩きをしながらバチャバチャと水しぶきをあげて楽しんでいました。



こんなことできるようになったよ!!

年の大きい子どもたちは大きなプールでバタ足や顔浸け、水中トンネルくぐりなど練習してきた成果を、一人ずつチャレンジして、みんなに見てもらいました。



メダルももらったよ

今年の夏、楽しく元氣いっぱいプール遊びができたごほうびに先生お手製の「げんきっこメダル」が渡されました。

メダルを手にした園児はオリンピック選手気分。とっても良い笑顔で今年最後のプールを楽しみました。

最後は冷たいジュースをのどをうるおし、その後、お昼ご飯をおいしく食べました。



顔輪笑いの

『但馬合気会』(日高)

相手を倒さず攻撃を制する合気道



但馬合気会は、神鍋高原万場スキー場内にある公徳館武道場を拠点として活動する合気道のグループです。男女合わせて10人のメンバーが、毎週月曜日は公徳館で、木曜日は旧日高職業訓練校で、それぞれ午後7時から8時30分まで稽古に汗を流しています。

代表の谷垣亮則さん(日高町上石)は「但馬で合気道が学べる数少ないグループです」と話します。合気道は、相手と戦って倒す術ではなく、相手の攻撃のみ制し、相手を傷つけない武道です。攻撃を受け流し相手を制する、この流れるような体さばきから生まれる技は、一見、舞のようにも見えますが、一撃で相手の攻撃を制することが出来ます。特別な筋力が必要としない所が人気を集め、近年では、護身術として体得しようとする女性の参加者も多く、誰もが気負いせず始められます。また、他の武道と違って試合はなく、昇級・昇段試験では、相手と決められた技を行います。その正確さが審査されながら、相手と気を合わせながら決められた技を正確に表現するという所に、繰り返し稽古する意義と奥深さがあります。メンバーは、それぞれが生活の中に合気道を取り入れ、心身の鍛錬や気分転換、運動不足の解消に役立てながら、交流を深めています。興味のある方は、ぜひ、参加ください。



●メンバー募集中
《問合せ》谷垣 ☎090-3973-5546